



令和 7 (2025) 9 . 9

NO.150 記念号

会報

〒420-0853 静岡市葵区追手町 3 番 11 号 しずおか焼津信用金庫追手町ビル 6 階 TEL : 054-255-4678 FAX : 054-255-4699
URL <https://www.hs-pta-shizuoka.net/> E-mail post@hs-pta-shizuoka.net



会報あつちし

静岡県公立高等学校 PTA 連合会

会長 住吉 明

日頃より本会の活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

9 月に入り、朝夕の空気に少しずつ秋の気配を感じる季節となつてまいりました。夏の疲れが出やすいこの時期ではございますが、皆さまにおかれましてはお健やかに過ごしのことと存じます。

6 月 4 日 (水) に開催されました令和 7 年度県高 P 連総会において会長に再任され、2 年目を迎えることになりました。また、今年度は東海地区高 P 連会長、全国高 P 連理事としても活動してまいります。本県や他県の PTA 役員の方や、先生方、保護者の皆さまと協力して子どもたちの学校での生活が充実したものとなるように一生懸命努めさせていただきます。

さて、高校生にとっての 2 学期は、学習内容も難しくなつて、3 年生は「自分は何をしたいのか」「どんな道を歩むのか」を考える時であり、1・2 年生は、学力の基盤を固める大切な時期であります。体育祭などの学校行事も多く 1 年間で最も中身が濃く、成長のチャンスが詰まった重要な時期です。保護者の皆さまにおかれましては、コロナ禍が落ち着き学校行事に参加で

きるようになり、子どもたちの笑顔が校内にあふれる光景が戻ってきたことに、あらためて感謝と喜びを感じておられることでしょう。行事を通じて子どもが主体的に考え、協力し合い、何かを創り上げる経験は、何ものにも代えがたい学びの場です。そうした時間を陰から支えてくださる保護者の皆さま、また PTA 役員や地域の方々のご尽力には、心から敬意を表したいと思えます。同時に、PTA の役割も少しずつ変わってきていると感じています。学校と保護者をつなぐだけでなく、保護者同士の交流や情報共有の場としても、PTA の存在意義はこれまで以上に重要になってきております。

特に、近年は家庭や地域を取り巻く環境も大きく変化しています。SNS や AI といった新しい技術が子どもたちの生活に浸透し、利便性と同時に新たな課題も生まれています。こうした時代においては、大人同士が手を取り合い、学校だけに任せられるのではなく、家庭・地域・学校が連携して子どもたちを支えていく姿勢が、今まで以上に求められています。

PTA 活動においても、「できる人が、できる時に、できることを」行っていく工夫が各校で広がってきています。

Contents 目次

静岡県公立高等学校 PTA 連合会 会長あいさつ	1
令和 7 年度 静岡県公立高等学校 PTA 連合会報告	
静岡県公立高等学校 PTA 連合会 総会・研修会	2・3
東海地区高等学校 PTA 連合会 総会・静岡大会	4
学校・PTA 紹介	
静岡県立御殿場高等学校・PTA	5
静岡県立焼津水産高等学校・PTA	5
静岡県立浜松北高等学校・PTA	6
静岡県立袋井特別支援学校・PTA	6
150号記念特集「名誉顧問に聞く～PTAへの思い」	7
令和 7 年度 単位 PTA 会長名簿	8
令和 7 年度 静岡県公立高等学校 PTA 連合会 役員名簿	8

保護者の多様な事情を尊重しながら、参加しやすい仕組みづくりを進めていくことが私たち連合会としての課題であり、「使命だと考えております。「人とのつながり」を大切に、そして PTA 活動を楽しんでいきましょう。最後にありますが、今後も PTA 活動が保護者の皆さまにとって「参加しやすかった」と思えるような場であり続けるために、皆さまのお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。



令和7年度 静岡県公立高等学校PTA連合会 報告

1 静岡県高P連 総会・研修会

期日：6月4日(水) 午後12時30分から 会場：ホテルグランヒルズ静岡

2 東海地区高P連 総会・静岡大会

期日：6月27日(金) 会場：静岡市清水文化会館マリナート他
午前11時から総会、午後1時から大会(研究協議・講演会)

3 第74回全国高等学校PTA連合会大会 2025三重大会

期日：8月21日(木) 午後：開会行事・表彰式・分科会
8月22日(金) 午前：記念講演・閉会行事
会場：三重県津市 津市産業・スポーツセンター
※三重大会の報告は、次号(151号)に掲載予定です。

静岡県公立高等学校PTA連合会 総会・研修会(講演会)

本年度の総会は、昨年度とほぼ同じ31名の会員のご参加を得て、6月4日(水)に開催しました。総会の司会は山本泰三副会長、開会及び閉会の言葉は河田憲一郎副会長、来賓の誘導は中里功顧問が務めました。また、当日午前中から運営補助員として、静岡市葵区・駿河区の公立高等学校のPTA会員10名の皆様に、準備や運営等に係るご協力をいただきました。改めて、厚くお礼申し上げます。



前中から運営補助員として、静岡市葵区・駿河区の公立高等学校のPTA会員10名の皆様に、準備や運営等に係るご協力をいただきました。改めて、厚くお礼申し上げます。

(1) 総会 住吉会長あいさつ

昨年度会長になってから、機会あるごとに、いろいろな学校のホームページを見させていただいています。例えば、静岡農業の収穫祭、吉原工業の体育祭、駿河総合高校の授業風景や2年生の研修、磐田西高校の文化祭などで活発でにぎやかな各校の風景を頭の中で想像しています。また、この時期は



冒頭のあいさつする住吉会長

(2) 祝辞

続いて、御臨席の来賓の方々を代表して、県教育委員会教育長・池上重弘様から、以下の御祝辞をいただきました。「本日は、令和7年度静岡県公立高等学校PTA連合会の総会が開催されますこと、誠にありがとうございます。会長をはじめ、会員の皆様方には、日ごろ、高等学校、特別支援学校の教育活動に對しまして、多大な御支援をいただくとともに、家庭教育の充実や青少年の健全



壇上に並ぶ本会の本部役員

運動部生徒はインターハイ県大会の時期だと思いが、喜んだり、うれしかったり、悔しかったり、様々な思いや、一生懸命打ち込んだ経験はすべてが勉強です。チームワークや協調性も子どもたちの中に育まれていると思います。今日、PTAの在り方や活動の意義が問われている時代ですが、このよう

が問われている子どもたちをどうやって支援するか、まずは会員が参加しやすいPTAの環境作りが大切であると思います。県高P連は、これからは単位PTAの活動を支え、行政への架け橋役を果たしていきたいと考えています。



池上重弘教育長

運動部生徒はインターハイ県大会の時期だと思いが、喜んだり、うれしかったり、悔しかったり、様々な思いや、一生懸命打ち込んだ経験はすべてが勉強です。チームワークや協調性も子どもたちの中に育まれていると思います。今日、PTAの在り方や活動の意義が問われている時代ですが、このよう

さて、6月27日には、東海地区高等学校PTA連合会静岡大会が開催されます。本県のPTA活動を東海地区の他県の皆様へ発信するとともに、本県のPTA活動がさらに充実、発展する絶好の機会となります。大会準備には、多大な御苦労があると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

県では、3月に「未来を切り拓く人材と社会を生き抜く力を育む教育の実現」を基本理念に掲げた、新しい静岡県教育大綱が策定されました。県教育委員会としては、社会全体のウェルビーイングを目指し、他者と協調して新たな価値を創造する力の育成に向け、学校、家庭、地域の連携、協働の下、魅力ある学校づくりを進めて参ります。PTAの皆様には、その活動において、まさに地域ぐるみの教育を支えていただいているとともに、県で行っている家庭教育支援やスマホルールアドバイザーなど様々な事業にも御協力をいただいております。重ねて感謝を申し上げます。

PTAは、学校と家庭と地域をつなげる非常に大切な組織です。県教育委員会では、子どもたちが誰一人取り残されることなく、地域の宝として社会全体から愛情を受け、健やかに成長できるよう、今後もPTAの皆様とともに取り組んでまいりますので、引き続き御理解と御協力をお願いいたします。結びに、静岡県公立高等学校PTA連合会のますますの御発展と皆様方の

御健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。」

【出席のご来賓】

- 静岡県教育委員会
- 教育長 池上 重弘様
- 社会教育課長 小竹 啓功様
- 高校教育課長 中村 大輔様
- 特別支援教育課長 山村 仁様
- 静岡県PTA連絡協議会 会長 長澤 秀幸様

(3) 表彰式

単位PTA会長等役員退任者108名、校長理事退職者2名、合計110名の方に住吉会長から感謝状と記念品が贈呈されました。被表彰者の皆さまを代表して、静岡県立天竜高等学校前PTA会長・町田和代様から、心のこもったお礼の言葉をいただきました。



謝辞を述べる町田天竜高前会長

「本日は、このような場で表彰をしていただき、誠にありがとうございます。私は、子どもの成長とともに、小学校・中学校・高等学校とPTA役員を続けてきました。その12年間の中で、一番印象に残り、一番学ぶことができたのが天竜高等学校での3年間の経験です。各学年にPTAの役割を割り振り活動上の工夫をしたり、卒業生の秋野不矩氏の収蔵品を生徒に公開したり、さまざまに取り組みをしました。このPTA活動を通じて、多くの出会いや学びがありました。」

(4) 講事

議長は、慣例により住吉会長が務めました。また、三輪高太郎名誉会長が一般財団法人静岡県高等学校安全振興会・理事長として、同会の組織や事業を説明し、活動紹介をしました。

令和6年度事業報告・決算報告と監査報告、理事会推薦の本部役員・県校長協会推薦の校長理事・各地区推薦の理事・監事、令和7年度事業計画・予算案などが承認されました。本年度役員については、8ページにお名前を記載しました。総会資料については、県高P連のホームページ「総会・研修会報告」に予算・決算を含む全文を掲載しています。ぜひ、ご確認ください。

静岡県公立高等学校PTA連合会
(<https://www.hs-ptashizuoka.net>)

【研修会（講演会）】

演題

「驚くべき笑顔の力 表情筋ストレッチで脳から身体を健やかに」

講師 上田 真弓 氏

笑顔の時間U代表
表情筋セラピスト

スマイルアドバイザー協会理事長

研修会（講演会）の司会は、原拓也副会長、講師の紹介は杉山大一副会長、講師の迎えや案内は佐野孝之顧問が務めました。

講師の上田氏は、保育士、特別養護老人ホームのヘルパーなどを務められ、子どもたちや利用者など多くの方々と接する中で、笑顔の素晴らしさや重要性を実感され、それをきっかけとして、表情と脳、表情と身体の関係に着目し

た独自のメソッドを開発され、現在は、表情筋セラピスト、スマイルアドバイザーとして多方面で活躍されている方です。



講師の上田真弓氏

講演会では、表情筋とは何かという説明から始まり、参加者が自分の顔をスマホで写して確認しながら、顔全体の筋肉は脳につながっている。表情筋を正しくストレッチすれば、その効果は美容面、健康面、精神面にとどまらず、人間関係やビジネスにも良い影響を及ぼすと、実例を交えて説明してくださいました。また、いろいろな表情の中でも、笑顔の効用は一番大きく、脳が元気になり、他の人にもどんどん伝染し広がっていくものだそうです。特に、「楽しいから笑うのではなく、笑うから楽しくなる」という言葉には、とても説得力がありました。

講演の後半では、講師の考案した「スッキリ！リフレッシュ体操」を会場全体で実践しました。肩甲骨ほぐし、首の体操、頭皮マッサージ、口腔エクササイズ、顔のコリを取るツボ押し、極上笑顔の作り方、笑顔の発声などの基本体操を練習した後、講師が登場する「笑顔のラジオ体操」

大きなアクションで盛りあげる上田氏



大きなアクションで盛りあげる上田氏

「の映像を会場に流して、出席者全員が笑顔で取り組みました。また、講演の最後には、円滑なコミュニケーションを形作るための「積極的傾聴法」の9技法も紹介してもらいました。全体を通して、パワフルなアクションと随所にユーモア溢れる軽快な語り口で終始参加者を引きつけ、会場は大いに盛り上がり、大きなエネルギーをもらった講演会でした。



東海地区高等学校PTA連合会
令和7年度総会・静岡大会 報告

東海地区高等学校PTA連合会「静岡大会」は、6月27日(金)に静岡市清水文化会館マリナート大ホールで開催されました。例年、大会当日の午前



総会であいさつする住吉会長

中に各県の役員が参集し、年に一度の総会を開いていますが、今年も昨年度事業と決算、本年度の事業計画及び予算などが審議され、すべて承認されました。

た役員改選では、令和7年度の東海地区会長として本県会長の住吉明氏、理事として本県副会長の山本泰三氏と原拓也氏、校長理事の織田敦氏(静岡高校校長)が選出されました。
午後の大会は、東海4県から88名が参加しました。前回の令和3年度静岡大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止により、開催直前に中止となつてしまったため、今回は実に9年ぶりの開催となりました。県高P連本部役員と静岡・清水地区の公立高校PTA会員29名が協力し、大会の準備と運営、おもてなしにあたりました。



お出迎えはふじっぴーとシズラ

来賓として静岡県教育委員会教育長の池上重弘氏、静岡県高等学校長協会会長の織田敦氏から、ご祝辞をいただきました。

続いて、東海地区の2校による研究協議が行われました。まず静岡県立浜松特別支援学校PTAが「サステナブルなPTA活動を目指して」をテーマに発表しました。学校の教育目標である「共生社会の中で、自分らしく力強く生きる人を育てる」や、高等部での自立支援を目的とした作業学習の重要性が紹介されました。一方で、多様な学校行事による役員負担の軽減が長年の課題であったため、保護者が無理なく参加できる取り組みとして、令和5年度からは「応援隊活動」を開始し自主的に参加してくれる会員にカードを配つたり、Instagramの活用やGoogle

を使った情報共有などに取り組んだり、様々な工夫が報告されました。
次に、岐阜県の学校法人松翠学園岐阜女子高等学校が、「本校の育友会活



研究協議に臨む両校の発表者



「動」と題して発表を行いました。学校の沿革や教育の特徴を説明した後、文化部による実演会、体育祭での飲料水配布、文化祭のバザー、エコキャンプ運動など、年間を通して多彩な活動に取り組んでいることが紹介されました。また、デジタルツールを活用している現状と今後の課題などが報告されました。両校の発表からは、現代のPTA活動がデジタル技術を取り入れて進化している様子が伺えました。

次に、金沢大学・融合研究域・融合科学系の金間大介教授に講演をしていただきました。演題は「素直でまじめで優秀、でも主体性がないーそんな『い子症候群の若者たち』と共に前進むためにー」です。金間教授は、多様なデータや自身の体験を交え、現代の若者の特徴として、「自分の意見を言わない」「目立ちたくない」「平均的でいたい」などの傾向を紹介し、加えて、「安定志向の強さ」、「職場がゆるくて不安だから退職するケース」、「タイプ重視」、「横並び意識の強さ」など、若者が抱えている様々な考えや価値観を紹介してくれました。また、こうした言動の背景には、

「安定志向の強さ」、「職場がゆるくて不安だから退職するケース」、「タイプ重視」、「横並び意識の強さ」など、若者が抱えている様々な考えや価値観を紹介してくれました。また、こうした言動の背景には、



講演する金間教授



口動態、経済、教育環境などの在り方変化があり、若者にとっても大人にとっても「失敗してもよい」環境が不足していると講師は分析

した上で、若者だけでなく、大人世代もしっかり自分たちの社会の特徴を捉える必要があると、強調しました。講演後実施したアンケートでは、参加者の93.5%が講演時間を「適切」または「短い」と回答し、「参考になった」が「まあまあ」を含めて100%に達しました。参加者からは「現在の若者理解に役立った」、「親自身も主体性を持つ必要性を痛感した」、「子を作っているのは親だなど改めて考えさせられた」、「今後の親子関係の参考にしたい」、「家に帰ってから家族と講演内容をシェアした」などの感想が寄せられ、もっと時間が欲しかったという意見が多く、とても好評な講演会でした。

最後に東海地区高P連の鳥居春美副会長(愛知県)が閉会挨拶を行い、令和8年度は愛知県で東海地区高P連の総会・大会を開催することが報告され、静岡大会は終了しました。



講師との質疑応答

静岡県立御殿場高等学校

学校紹介



御殿場高校は、明治35年4月創立以来、御殿場農業学校、御殿場実業学校、御殿場高等学校と名称を変更し、令和3年度には創立120年目を迎え、約2万6千有余名の卒業生が、地元を中心に各地で社会を支える推進役として活躍しています。「質実剛健にして美しく」の校訓のもと、一貫して、地域の将来を担う優れた人材の育成に努めております。

現在は、創造工学科（工業科）、創造ビジネス科（商業科）、生活創造デザイン科（家庭科）という3つの専門学科を併せ持つ、県内でも特徴のある学校です。それぞれの学科で専門的な学習に取り組み、知識技術の修得、資格取得、部活動、学校行事に力を入れています。また、地域との連携、キャリア教育、服育をおとした道徳教育も本校の特色です。卒業後は就職に強く、大学、短大、専門学校への進学之道も拓かれています。他校にはない強みを生かし、地域の未来を創り支える人材を育てます。



校長 西川 勝啓

PTA紹介



PTAの組織としては、会長をはじめとして8名の本部役員を中心に、地区ごとの9つの支部会で構成されています。各支部に支部長、副支部長がいて支部をまとめられています。その下に理事があり、全体では96名になります。

中心的な活動としては文化祭ではバーを実施したり、模擬店を開設したりして生徒と交流を深めています。売上げの一部は社会福祉への寄付に回しています。また大きな活動としてクロスカントリー大会での観察の補助があります。各ポイントにおいて大声で生徒を励ましたり、通行する一般車両からの安全の確保に取り組みます。また、夏、秋、年末における交通安全県民運動へ参加し、学校付近に立って交通安全への呼びかけを行っています。

かなりの大組織ですが、常任理事会等を複数回行い、まとまりのある組織を目指しています。これからも学校の活動と密接に関連し、生徒に寄り添った活動を行ってまいります。



PTA会長 杉山 好勝

静岡県立焼津水産高等学校

学校紹介



本校は、今年で創立103年目を迎え、地域に支えられて、地域と共に歩んできた歴史があります。静岡県及び地元焼津市は、地先の駿河湾から遠洋海域まで、海の恵みを生かした水産・海洋関連産業が盛んで、気候・風土を生かした多様な食文化も発達しており、今まで多くの卒業生が貢献してまいりました。また、県内唯一の水産高校ということでも、実習船や臨海実習場、海洋工学センター、食品実習棟、マリンスイミングなど、専門的で実践的な学習ができる施設・設備が充実しています。



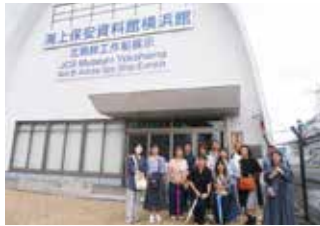
本校の特色は、体験学習を含む多様な教育機会を提供することで、人間性豊かな逞しい人材を育成するところにあります。生徒一人一人の特性（良いところ）を最大限に伸ばす教育を実践するために、学びの場は、学校内にとどまらず、海や船、実習場、高等教育機関（大学等）、企業現場など、積極的に外部や地域の連携を図り、多様な魅力的な学びを提供してまいります。そして、在学中は、仲間と協働しながら大いに学び、卒業後に明るい未来を描けるよう、進学から就職まで多様な進路を支援してまいります。

校長 沼里 智彦

PTA紹介



本校の特色ある活動を二つ紹介いたします。一つはPTA研修「カツオ料理教室」です。2年生が航海実習の一本釣り実習で釣ってきたカツオを炭火でタタキにするというもので、先生方からカツオのさばき方を教えてもらい、一人一本のカツオを三枚におろします。そのあと、炭火でタタキにするのですが、一本のカツオをさばく経験は水産高校ならではの研修です。もう一つの活動は、PTA研修旅行です。本校には、船のことを学ぶ海洋科学科、魚の養殖を学ぶ栽培漁業科、水産加工を学ぶ食品科学科、流通や経済を学ぶ流通情報科の4つの学科があるので、研修旅行では、それら学科に関連した企業や施設などを訪問し、親子で学びを深める機会となっております。昨年は、山梨県にある湧水の里水族館、一昨年は横浜の海上保安資料館の見学をしました。



これからも、楽しく活動する親の様子を我が子にも見ってもらい、親子で有意義な高校生活を送れるようにサポートしてまいります。

PTA会長 田口 志穂

静岡県立浜松北高等学校

学校紹介

本校は、明治27年に敷知・浜名・長上三郡の浜松町組合立として現在の浜松市中央区元城町に開校し、4年後の明治31年に現在の校地である浜松市中央区広沢に移転して、令和6年度に創立130周年を迎えた、歴史と伝統を誇る学校です。卒業生は、全日制・定時制をあわせて4万人を超え、地元浜松の地だけでなく、県内外、国内外の地域で、産業・経済・法曹・医療・教育などの各界、県・国・市町の行政機関、大学・大学院・専門学校などの教育研究機関等、多くの分野・領域において活躍・貢献しています。



令和6年度に創立130周年を迎えた、歴史と伝統を誇る学校です。

全日制は、普通科と国際科を併置し、「自主独立」の精神のもと、向学心と向上心にあふれる仲間と切磋琢磨する学校として、広く世界的視野に立って人類の発展に貢献し得る「逞しい人材」の育成を目指す教育を展開しています。定時制では、多様な生徒が互いを理解し共に学ぶ高校として、広く社会に貢献できる人材の育成を目指した教育を実践しています。今後も、地域のニーズに応じた期待される学校として、必要な教育を推進していきます。



校長 飯田 寛志

PTA紹介

本校PTAは、本部役員9名、4つの専門委員15名と地区委員90名（兼任の本部役員等を除くと66名）の保護者と校長先生を始めとする先生方が協力して活動しています。専門委員は、通・調査の4つで構成されています。PTA活動としては、本部役員が理事会、PTA総会を開催します。今年度は事務処理上の負担軽減のため、総会の委任状を紙からスマホでQRコードを読み取り、出欠、委任の意思表示をフォームで行う形式に変更し、集計作業を省き、瞬時に集計結果が把握できる様にしました。



PTA活動として、本部役員が理事会、PTA総会を開催します。

本校PTAは、生徒達の活動を後援することに主眼を置いていきますので、部活動、学校行事及び模試等に対する経済的支援が主な活動となります。またPTA会長副会長は、県及び地区P連の総会への出席、卒業式と入学式での挨拶、加えて県高P連にも理事役員等を送り出しています。本校では、子ども達の自主性を尊重する教育方針であるため、PTA活動の負担は比較的少ない方だと思えます。



PTA会長 杉山 一統

静岡県立袋井特別支援学校

学校紹介

本校は、平成2年4月に開校し、今年度で開校36年目を迎えます。小学部、中学部、高等部に知的障害教育と肢体重複障害教育の課程が併置されており、今年度は全校で31人の児童生徒が在籍し、登校したり訪問教育を受けたりして学習しています。



「自ら光る子を育てる」を教育目標とし、「安全・安心」「子ども主体の授業」「連携」を柱とした取組をしています。

地域の清掃活動、児童生徒の作品展示、作業製品の販売会をしたり、地域の方を講師に迎えた学習などを行ったりしています。また、袋井高校や袋井商業高校、近隣の小中学校との学校間交流では、共に活動することで、お互いの理解を深めています。

12年間の継続した支援・指導をとおして、児童生徒が自分の「よさ」を更に広げ、多くの人と関わりながら、伸ばしていくことで、より自分らしく社会で豊かな生活を送ることを目指しています。



校長 鈴木 滋夫

PTA紹介

本校のPTAは本部役員を中心に、各学年委員が4つの専門部（広報部、福利厚生部、進路部、防災対策部）に分かれて活動をしています。広報部は袋特だより「光る子」を年2回発行し、子どもたちの学校での様子を伝えていきます。福利厚生部はベルマーク、インクカートリッジの回収と11月の「光る子まつり」でPTAバザーを開催しています。バザーは地域の方々も来校してくださり、毎年盛況です。進路部は今年度、事業所見学と障害年金講座を予定しています。防災対策部は今年度、防災センターの見学と防災講習などを予定しています。その他に総会の後に講師を招いて講演会を開催、保護者間の親睦を目的とした「意味ある学級活動」サポーター事業なども行っています。



広報部は袋特だより「光る子」を年2回発行し、子どもたちの学校での様子を伝えていきます。

PTA活動が保護者の皆さんにとって楽しく有意義な時間となるよう、本部としてサポーターをしています。子どもたちと保護者の皆さんが充実した生活を送ることを目指して、これからも頑張っていこうと思えます。



PTA会長 柴田 七重

会報第150号 メモリアル特集

「名誉顧問に聞く」PTAへの思い」

会報第1号が発行されたのは、昭和38年3月30日。巻頭の初代会長荻野準平氏のお話を読むと、生徒急増対策が当時の最大の課題で、高P連会員の協力により、全国的に見ても多い全県200の学級増となり、入学競争率が対前年比で0.7下回って1・23になったと謝辞が述べられています。まさに隔世の感があります。以来、会員の皆さまや各方面のご協力で地道に刊行を続け、最近では年2回ペースで身近な話題をお届けしています。本号では、150号記念として、本会の名誉顧問3氏に、PTAとの関わりを振り返り、現役の会員の皆さまへのメッセージをいただきました。



芦川 清司氏

「我が人生PTAと共に」



静岡県高P連会報150号心よりお祝い申し上げます。私は昭和47年子供が幼稚園

に入った時から、小学校、中学校とPTAの役員となり、平成元年に静岡農業高校のPTA会長を務め、連合会との関りも平成6年より7年間会長を務め、平成16年から現在の名誉顧問となっております。平成10年にはPTA活動で文部大臣表彰をいただき、まさに私の人生はPTA活動そのものであり、PTA活動に携わり支えてくださった皆様に心から厚くお礼申し上げます。私の一番の思い出は、平成9年10月に県庁の記者クラブに加盟する報道関係者に要望書を提出したことです。その内容は「『援助交際』『おやし狩り』という言葉の表現が正しい意味に解釈されず青少年に対する悪影響を助長する結果となっている。『援助交際』は『売春』、『おやし狩り』は『恐喝』であり、

これらの行為は明らかな犯罪行為であることを認識させるためにも、不用意にこのような語句を使用しないよう、報道関係に強く要望いたします。」というもので、このことが各紙で反響を呼び静岡の高P連がマスコミを動かし全国運動となり、その後この言葉が新聞やテレビで使われなくなりました。PTAの歴史はただ単に過ぎ去った過去のものではなく、歴代の会長・役員の方々の努力の積み重ねであり、現在を支えるものです。PTAの果たす役割は大きいと思います。高P連の更なる発展を祈念申し上げ挨拶いたします。

豊岡 武士氏

「P(パーツ)とT(楽しく) A(明るい) 高P連!!」



会報150号、心よりお祝い申し上げます。私は平成16年度から7年間、会長を務

めました。伝統ある静岡県高P連の歴代会長には県議会議員があたり、私もPTA活動を通して出される数々の要望を県教委につなぎ、行政に働き掛け

解決に結ぶ役割を担っていました。私の任期中に、現在のような東・中・西で持ち回りの方式へと改めました。その頃、高校内に特別支援学校の分校が開設され始め、養P連(現在の特別支援学校のPTA連合会)代表にも理事として加わっていただき連携を深めるようにもなりました。

高校PTAの活動は学習環境の整備や学習活動の支援に加えて生徒の健全育成と保護者自身の研鑽など多岐にわたり、同じ高校生を持つ親として役員をはじめ各高PTAの皆様と高P連の事業活動を大いに議論したものです。とりわけ、東海大会や全国大会の情報交換会で、多くの皆さんと交流を深め、飲み食べ笑い合ったことは忘れがたい思い出です。

近年、高校の統廃合やPTAのあり方など大変気になる報道を耳にします。社会の急速な変革には目を見張るものがありますが、一方で憂慮すべき点も見受けられ、青春まつただ中にある高校生の健やかで逞しい成長を支えるPTAの役割がさらに重要度を増しています。P(パーツ)とT(楽しく)A(明るい)高P連!!に期待しています。頑張ってください。

関 隆之氏

「仲間との絆を深めた 全国高P連大会 静岡大会」



静岡県公立高等学校PTA連合会会報が発行から150号の節目を迎えたこと、心

よりお慶び申し上げます。これまで運営に携わってこられた学校関係者およびPTA会員皆様方の日々の活動の賜物と敬意を表します。

振り返れば私が高P連の一員となつたのは平成23年、今から14年前になります。当時の会長であった豊岡名誉顧問(現三島市長)が、市長当選を機に会長を退くことがきっかけでした。以降、まさか自分がこれほど長く高P連に関わるとは思っていませんでしたが、その間の思い出として残っているのは、最大のイベントであった平成29年の全国高P連大会静岡大会です。大会に向けての組織づくりを平成27年から始め、約2年半の準備期間を経て千人を超えるPTA会員の方々のご協力を得て、エコパアリーナをメイン会場として開催されました。大会事務局と実行委員とが頻りに顔を会わせて大会運営について進捗確認をしながら、落ちがなかななどを検討しました。全国から1万人のPTA会員の参加を見込んでいたので、準備事項が膨大で自分たちでできるのだろうかと不安を抱きながらも、打合せ後にお酒と伴に、他愛のない会話を交わすことで一体感が醸成されていきました。いまでも顔を合わせると当時の苦労話に花が咲くことから、一緒に過ごした時間の長さだけ絆が深まったのだと感じます。

PTAを取り巻く環境が変化していますが、仕事を通してでは知り合うことのできない方との交流や人脈を広げるきっかけとして利用し、「Pはばっ」と、Tは楽しく、Aは明るく」の精神で参加しやすく、楽しめる運営を目指していただきたいと思います。



令和7年度 単位PTA 会長名簿 (敬称略)

Table with 4 columns: NO, 学校名, 氏名, and a second set of columns for NO, 学校名, 氏名. Lists PTA chairpersons across various schools in Shizuoka Prefecture.

令和7年度 静岡県公立高等学校PTA連合会 役員名簿 (敬称略)

Table with 5 columns: NO, 役職, 地区世話人/校理事, 氏名, 学校名, 推薦地区/推薦者. Lists PTA executive members and their affiliations.

編集後記: コロナ禍の影響で9年ぶりの東海大会主催県となり、緊張しましたが、会員の皆さまのご協力が無事大会が終了しました。改めて感謝申し上げます。...

